

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	響・快適な住まいを考える会				
H30採択グループ番号	07	—	0057	—	0716

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	補助事業者のスキルアップを図るための勉強会・見学会を多数実施した。
----	-----------------------------------

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/05/16	名称	平成30年度事業実施説明会				
	内容	平成30年度グリーン化事業の実施における、グループ共通ルールの策定と説明を実施。								
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称					
	内容									
	消費者説明会 2		開催日		名称					
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/08/09	名称	平成30年度採択報告会	タイプ	座学	●	
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/07/13	名称	長期優良住宅申請手続き研修会	タイプ	座学	●	
	工務店研修会 3	有	開催日	2018/08/14	名称	断熱材研修会	タイプ	座学	●	
	工務店研修会 4	有	開催日	2018/08/20	名称	省エネ勉強会	タイプ	座学	●	
	工務店研修会 5	有	開催日	2018/09/06	名称	BELS認証勉強会	タイプ	座学	●	

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有								
	内容	未経験工務店への工法や仕様選定等の技術的サポートを随時実施。								
取組み②	サポートの有無 2	有								
	内容	認定申請サポート事業者による、交付申請・完了報告書式作成の補助を実施。								
取組み③	サポートの有無 3									
	内容									

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	1	発行予定	2					
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	プロパティオン株式会社						

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有									
内容	相談窓口が事務局である旨を施工構成員が施主に説明する。									
② H30年度における施工構成員の廃業	無									
対応内容										

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有									
内容	各種建材や設備等の施工構成員に向けた省エネ講習を随時実施。									
省エネ化に対する取組 ②										
内容										
BELS工務店の登録数	1 社									

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	響・快適な住まいを考える会			
H30採択グループ番号	07	—	0057	— 0716

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/05/09	名称	採択応募内容説明会		
	内容	平成31年度のグリーン化採択におけるグループ内ルールの説明と協議を実施する						
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称			
	内容							
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/07/15	名称	採択結果説明会	タイプ	座学
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	認定申請サポート事業者による、交付申請・完了報告書式作成の補助を実施。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	プロパティオン株式会社
------------	----------	-----	-------------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	相談窓口が事務局である旨を施工構成員が施主に説明する。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	各種建材や設備等の省エネ講習を随時実施。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	各種建材や設備等の省エネ講習を随時実施。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/07/15				
内容	各メーカーより講師を招き、省エネ改修の講演を行う。						
研修計画 ②		実施日					
内容							

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	響・快適な住まいを考える会				
H30採択グループ番号	07	—	0057	—	0716

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	○地域に合わせた住宅作りとして下記のいずれか一つ以上を取り入れる ・「黄砂」対策として屋外で洗濯物を干しにくいエリアの為、室内干し設備を取り入れる ・「PM2.5」など大気汚染対策として、室内環境改善の為、24時間換気扇にフィルターや防塵カット機能付部材を設ける ・西日対策として西側窓に下記のいずれか一つ以上を取り入れる ①できる限り庇を長くする ②袖壁による日射遮蔽部材を取り付ける ③遮熱Low-eガラスにする ○平成28年省エネ基準の断熱性能等級4以上 ○1次消費エネルギー消費量等級4以上 ゼロ・エネルギー住宅の特徴 ○上記の特徴+太陽光発電システム ○BELS認証における5つ星を取得
----	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明			
主要構造材	土台	有	主要構造材につき、次の証明制度を利用する。 土台：合法木材証明制度(国内) 柱：合法木材証明制度(国内) 梁桁：合法木材証明制度(国内・国外)	
	柱	有		
	梁・桁等の横架材等	有		
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無		
造作材	枠材、廻縁等	無		
板材	壁板、床板等	無		

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	地域材の柱・土台をプレカット工場に在庫する。在庫量を毎月施工構成員へ報告する。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	施工予定状況を事務局を通じプレカット製材所構成員へ連絡する。プレカット工場・製材所も状況を事務局を通じ施工構成員へ連絡する。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	施工予定状況を事務局を通じプレカット製材所構成員へ連絡する。プレカット工場・製材所も状況を事務局を通じ施工構成員へ連絡する。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	躯体は耐震等級2相当以上を統一ルールとする。ただし工務店独自の自由設計を優先とする。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	グループ共通の点検表に基づき、点検時期ごとの補修項目に対し提案を行う。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	各施工構成に共通ルールの施工方法を含む勉強会を行い、それを基に構成員にて実施する。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	共通ルールに関する見積もりについては、事務局への問い合わせ・依頼により一括して実施する。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	「響・快適な住まいを考える会」事務局を、住宅の維持管理・リフォーム相談・困りごと相談の総合窓口として位置づけ消費者からのニーズ・信頼に応えていく。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	月の1度以上の週休2日制を取り入れている。又、事務局主催で勉強会を実施し、作業の効率化を促し完全週休二日制を目指している。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	事務局より各作業について必要な各種免許や認定の受講者を募り、スキルアップを図っている。
③ 社会保険への加入	有	内容	各構成員がそれぞれの社会保険や工事保険に加入している。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	安全に対する勉強会への参加や、労災事案の収集や構成員への周知を行っている。又、事務局主催の花見や地引網み体験、ボーリング大会等を定期的実施しフレッシュを図っている。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	響・快適な住まいを考える会			
H30採択グループ番号	07	—	0057	— 0716

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	畳の使用を提案する。6枚以上/1戸
② 和瓦の活用	無	内容	
③ 襖・障子の活用	有	内容	伝統的な和室を提案する
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	木屋瀬エリアにおける伝統的デザインの縦格子を活用して提案する。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	木屋瀬エリアにおける伝統的デザインの縦格子を活用して提案する。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	北九州市としてリサイクル事業を推進している為、リサイクル品で制作されたウッドデッキ等の建材の提案を行っている。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	木屋瀬エリアにおける伝統的デザインの縦格子を活用して提案する。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	被災地の物産品を現場見学会の記念品・年末年始のご挨拶の品として活用する。		
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	事務局が主体となり補助事業者によるボランティア活動の参加を募る。		